

義家に滅ぼされた金田長者

くば市金田の桜中学校がある台地には、金田の長者屋敷があつたと言われています。むかし、源義家が、何万もの兵を率いて奥州討伐へ向かう途中、この長者屋敷に立ち寄りました。

長者は、酒とごちそうで義家たちの軍を手厚くもてなしました。

その上、義家一行が出発の時になって急に雨が降り出すと、すぐさま何万人分もの雨具を用意したのです。

義家は、これほどの富と力を持った長者をこのままにしておいては後々危険と思つたのか、奥州からの帰りに一族を滅ぼしてしまいました。

この時、義家は、屋敷の床の間にあつた黄金の機織り機を、深井戸に投げ入れてしまったと言ふことです。

その後しばらくして、村人がそれが本当かどうか確かめるため、井戸の中を調べようとすると、不思議なことに、村中が流行病に見舞われたのです。

村人たちは、これ以上、悪いことが起きてはたまらないと、井戸を探るのを止めたのだそうです。

他にも義家に滅ぼされた長者の話は、県内にいくつか残っています。同じように義家の五万の大軍に雨具を貸したために滅ぼされたという岩間町安居の持丸長者の話があります。

岩間町には、この長者の話にちなんだ、五万人窪、長者清水などという所があるのだそうです。

